

議 事 録

会 議 名	令和5年第4回碧南警察署協議会（定例会）
日 時 ・ 場 所	令和5年12月11日（月） 午後3時から午後4時40分までの間 ----- 碧南警察署4階 講堂
出 席 者	<p>1 委員</p> <p>藤井 博司 会長 鈴木 孝治 副会長 長田 康弘 委員 神谷 弘恵 委員 新實 エルニ スダルニンシ 委員 加藤 毅 委員 瀧 由美 委員 石川 彩 委員 以上8名（定数8名）</p> <p>-----</p> <p>2 警察署員</p> <p>稲垣署長 柴田副署長 加藤警務課長 三戸会計課長 吉田生活安全課長 石川刑事課長 角谷交通課長 高垣警備課長 野村高浜幹部交番所長 以上9名</p> <p>-----</p> <p>3 有識者等 なし</p>
諮 問 事 項 等	自転車ヘルメット着用率を上げるための警察活動
答 申 等 の 概 要	<p>1 パトカーによる警ら活動の際の自転車利用者に対する声掛けの継続</p> <p>2 全年齢層を対象とした自転車ヘルメットの利用促進</p>
そ の 他	次回開催予定日 令和6年2月頃

会議の経過及び発言の要旨	
1	会長挨拶
2	署長挨拶
3	各種報告
	(1) 管内の犯罪発生状況
	(2) 管内の交通事故発生状況
4	前回の答申に対する具体的施策の推進状況（警務課長説明）
	(1) 諮問事項
	幅広い人材を確保するための効果的な警察官採用募集活動
	(2) 答申事項
	ア 就職期の学生のみにとどまらず、小学生、中学生等将来を見据えた若者への魅力の発信活動を行う
	イ 署員一人一人がリクルーターとなって、様々な機会を捉えた採用勧奨活動を行う
	(3) 推進施策
	ア 答申事項アについて
	保育園等でのちびっこ警察官イベント、小学生の交番見学、中学生の職場体験学習等における将来を見据えた活動
	イ 答申事項イについて
	交通事故死ゼロの日の交通監視、交通安全ポスター表彰式等の様々な機会を捉えた採用勧奨活動
5	諮問事項等（交通課長説明）
	(1) 諮問事項
	記録者
	警務係長

会議の経過及び発言の要旨	
自転車ヘルメット着用率を上げるための警察活動	
(2) 諮問事項の選定理由	
ア 自転車事故での死者の約7割が頭部のけがが致命傷となっているため	
イ 本年4月の道路交通法改正により、自転車乗車時のヘルメット着用が努力義務化されたが、自転車利用者に浸透していないため	
6 協議	
委員	・ 通学、通勤以外で自転車を使用する方のヘルメット着用率は低いと感じる。
	着用率を高めるためには、交通安全広報車等を活用したヘルメット着用に関する広報が必要だと思う。
	・ ヘルメットを着用するのが面倒である、髪型が乱れる、夏場は汗をかくななどと思う人が多いと思う。
	最近のヘルメットはデザインや機能が進化していることを伝えることができれば着用率も上がると思う。
	・ 幼少の頃からヘルメットは頭を守る重要なものだと伝えることが必要だと思う。
	重要なものだと継続して伝えていくことが必要である。
	一回伝えただけでは伝わらない、防災の重要性を伝えることと共通している部分がある。
	・ 警察が学校や団体等と協力して重要性を伝えれば、着用率も上がると思われる。
委員	・ ヘルメット着用が努力義務ではなく、義務になれば着用率は上がる。
	記録者
	警務係長

会議の経過及び発言の要旨			
	<ul style="list-style-type: none"> 本年4月に努力義務化された際は、報道機関がヘルメット着用についての話題を多く扱っていたが、現在は見かけなくなった。 		
	<p>スーパーマーケットや駅等の人が多く集まる場所にポスターを掲出するなど、ある程度期間が経った後に再び啓発活動を繰り返すことが必要であり、着用率の向上につながると思う。</p>		
	<ul style="list-style-type: none"> 自動車運転免許の更新の際に、啓発活動をすれば効果があるように思う。 		
	<p>ヘルメット未着用で事故に遭った際、大きなけがになることを映像で見せるなどして、未着用の場合の怖さを伝えれば効果が上がると思う。</p>		
委員	<ul style="list-style-type: none"> ヘルメット着用についてのパンフレットを外国語でも表記するなど、外国人に向けた啓発活動もしてほしい。 		
	<p>外国人向けの店舗にもパンフレットを置くなどして啓発活動をしてほしい。</p>		
委員	<ul style="list-style-type: none"> 最近のヘルメットは進化しており、実際に触ってもらう、着用してもらうなどすれば、ヘルメットに関するイメージが変わり、着用率も上がると思う。 		
	<p>実際にヘルメットに触れてもらう機会を提供すれば着用率向上につながると思う。</p>		
委員	<ul style="list-style-type: none"> 中学生まではヘルメットを着用するが、高校生になったらヘルメットを着用しない傾向がある。 		
	<p>高校生を中心に指導をする必要がある。</p>		
	<table border="1"> <tr> <td>記録者</td> <td>警務係長</td> </tr> </table>	記録者	警務係長
記録者	警務係長		

会議の経過及び発言の要旨	
警察から学校に、学校から高校生に指導すれば着用率は上がると思	
われる。	
・ 交通死亡事故ゼロの日に合わせてヘルメット着用についての啓発活	
動をすれば効果があると思う。	
・ ヘルメット着用が高校の校則になるように働きかけてはどうか。	
委員	・ 自転車の二人乗りは禁止されており、警察官が当事者に声をかけて
	いると思う。
ヘルメット未着用の人に対しても、二人乗りへの注意と同じように	
パトカーの車載マイクで注意するなどしてはどうか。	
・ ヘルメット着用が努力義務でなく、義務化されれば着用率も上がる	
と思う。	
委員	・ 小中学生はヘルメット着用率が高いが、高校生になると着用率が低
	くなる。
高校や行政と連動した地道な活動をすることで着用率を上げる必要	
がある。	
・ 管内には外国人も多く、技能実習生の多くも自転車を使用して移動	
している。	
実習生はヘルメットを着用している集団と着用していない集団に分	
かれている。	
実習生が勤務する職場に働きかける活動をすれば、着用する集団が	
増えることになり、着用率も向上すると思う。	
・ 以前勤務していた会社で自転車通勤で交通事故に遭った方がいた。	
	記録者
	警務係長

会議の経過及び発言の要旨	
大きいけがをしたので、会社から全自転車通勤者に対してヘルメットを配布した。	
会社の担当者に危険性を訴えかける活動をし、会社が社員に対してヘルメットを配布する流れを作ると良いと思う。	
・ スーパーマーケット等の店舗にヘルメットを着用して買物に行った方に対して割引があるような特典があれば、着用率は向上すると思う。	
委員	・ 会社経営者の方や家族に対してヘルメット着用の重要性を訴えれば、ヘルメット着用率の向上につながると思う。
	・ 自転車用ヘルメットは進化しており、以前と比較して安価になり、軽量化されている。
ヘルメット着用を言葉だけで訴えかけるのではなく、実際に進化しているヘルメットに触れる機会があれば、人々の意識も変わり、ヘルメット着用率が上がる。	
・ 交通安全標語のコンクール等があると思うが、人が着用したくなるヘルメットのデザインを募集するなどしてはどうか。	
委員	・ 自転車保険について、ヘルメットを着用していた方が起こした事故のほうが未着用の方よりも有利になる制度、仕組みを導入してはどうか。
委員	・ 交通安全協会の広報車が広報する際、ヘルメット着用についての文言を入れて広報してはどうか。
コストもかからず、良い方法であると思う。	
広報の時間帯を絞って活動すれば良いと思う。	
	記録者
	警務係長

